

特集 多彩な分野で活躍する 葉山町の小・中学生

バレーボールで全日本選抜メンバーに！

南郷中学校三年 二見 梓さん



二見梓さんは、南郷中学校バレーボール部に所属。三浦半島大会で優勝し、県大会出場を果たした後、一気にバレーボール界が注目する存在となりました。

まず、九月には「JOC（ジュニアオリンピックカップ）全国道府県対抗中学バレーボール大会」神奈川県選抜チームの一員（全県から十二人）に選ばれ、十二月に行われた大会では「エース」として攻守に活躍する様子が読売新聞でも大きく報道されました。



全日本選抜チームの韓国戦

さらに、全日本（中学生）選抜海外遠征選手に選ばれ、韓国選抜チームとの国際交流試合でも活躍しました。

二見さんがバレーボールを始めたのは南郷中学校入学後で、小学生時代はサッカーやピアノ、コーラス等に熱中していたとのこと。また、中学校入学後も「税についての作文」や「全国俳句コンクール」で入選するなど、まさに「文武両道」。バレーボール一筋ではないところに、今後の、さらに大きな可能性が感じられます。

二見さんの夢は、全日本シニアチーム（現在の柳本ジャパン）の選手として、世界と戦うことだそうです。まだまだ伸び盛りの現在、身長がすでに179cmあり、体格・体力の面でも全日本一流選手になる素質は十分と言えそうです。

「葉山町からオリンピック選手を！」という町民の願いが現実になるのも、夢ではないかもしれません。みんなで見守り、応援していきましょう。

夏休みの自由研究で文部科学大臣奨励賞

葉山小学校四年 澤入 溪太さん



いろいろな物の浮き沈みについて、大きさを同じにして比較したり、真水と水溶液の浮力の違いを調べたりするうちに、「ほくを浮かべたい！」との思いが強くなり、そのためにはどうすれば良いか研究を重ねたそうです。その研究の成果が、左の写真。みごとに水の上に立つことに成功しています。

溪太さんへのインタビューの中で印象深かったのが「実験してみたらず想が外れた。予想が外れたから、いろいろ工夫することが出来た。」という言葉。

このことは、まさに研究の、そして学習の本質を表しています。日常生活の中で生まれた疑問について、試行錯誤しながらねばり強く研究したことが受賞につながったようです。おめでとうございます。

澤入溪太さんの研究テーマは「水の上に立つ溪太のなぜ（比重と浮力の研究）」です。溪太さんの家は海に近く、夏休み中はよく海で泳いでいたそうです。そんなとき、ビンが海底に沈んでいたたりビニールが浮いていたりしているのを見て、『なんで浮く物と沈む物があるんだらう。何が水に沈むのか、何が水に浮くのか』を調べたくなったそうです。



神奈川県青少年創意くふう展覧会で神奈川県知事賞

葉山中学校一年 木村 真希さん



神奈川県青少年創意くふう展は、県内各市町村の優秀作品が一堂に集められる展覧会です。これらの多数の作品の中から、木村さんの作品「水が流れるまな板」が、県知事賞を受賞しました。

木村さんの作品説明原稿によると、「この作品は、まな板にたまった水を一定方向に集め、シンクに流すことのできるまな板です。魚などを調理する時に出了た水がきれいに流れるので、周りを汚さず気持ちよく調理ができます。また、調理中、まな板を洗うのに

何度も持ち上げなくていいので、楽に調理ができます。そして、調理中に出たゴミ、魚だけでなく野菜の皮なども、ゴミ受けに直接捨てることでできるので、とても便利です。」という作品です。

作品を考えるきっかけになったのは、「魚釣りが趣味のお父さんが、釣ってきた魚を調理するのを見ていて、もう少し楽に、きれいに調理できないかな」と思っていたことだそうです。

日常生活を快適に、豊かにしようとする姿勢が、素晴らしい作品を産み出したようです。おめでとうございます。

スキー「回転」で全国大会

南郷中学校1年 皆川 大弥さん

皆川さんは、第45回全国中学校スキー大会「回転の部」の神奈川県予選で第2位の好成績。みごと全国大会出場を果たしました。

全国大会へ向けての出発直前、抱負を聞くと「今までの練習の成果を十分に発揮して、神奈川の強さを見せつけて帰ってきます。」と力強く語ってくれました。

全国大会での活躍を大いに期待しています！



神奈川県予選で滑降中の皆川選手

去る一月二十七日(日)、葉山町陸上競技協会主催(葉山町教育委員会・葉山町体育協会後援)の町民駅伝大会が、一色小学校を会場に開催されました。第二十三回を迎えた同大会ですが、今年には町内の様々な企業・商店の協賛をいただき、また、運営に関わるボランティア、開・閉会式をはじめ競技中も大いに盛り上げてくれた南郷中学校プラスバンド部等、多くの方々との協力を得て、盛大な大会となりました。出場チームは昨年の二倍以上の八十

六チームにのぼり、本大会の目的の一つである「町民の健康増進」という面からも、意義ある大会となりました。今回これほどの盛況となった要因として、実行委員長の葉山陸上競技協会・中川氏は、「葉山をもっと素晴らしい町にしたいと考えている様々な人材が、今回、街づくり(無形資産)のための実験として取り組んだこと、また、行政(教育委員会)と民(陸協)の連携の成果」等をあげていました。各部の参加チーム数及び優勝チームは次の通りです。

第二十三回 葉山町民駅伝大会

過去最高八十六チームの参加で大熱戦！



- 小学生男子の部 十八チーム
- 小学生女子の部 七チーム
- 小学生招待 十六チーム
- 優勝 逗子リトルリーグA
- ファミリーの部 七チーム
- 優勝 幸保B
- 一般男子の部 十七チーム
- 優勝 TUブクローズ
- 一般女子の部 六チーム
- 優勝 マーヴェラス
- 中学生男子の部 八チーム
- 優勝 南郷中学校
- 中学生女子の部 七チーム
- 優勝 大津中学校